

J-PAC (Japan Program at Chiba)

個人チューターおよびシニアチューター募集要項

千葉大学では、毎年4月と10月に始まるJ-PAC (Japan Program at Chiba) という留学生の受入れプログラムを実施しています。協定大学を中心とする海外の大学の学部生(2~4年生)を11か月間(または5か月間)千葉大学に受入れるプログラムです。

このたび2023年度後期に国際教養学部に入學予定のJ-PAC生の**個人チューター**および**シニアチューター***を募集することになりました。興味のある方は、この要項を熟読した上で申し込んでください。

以下に説明するとおり、1対1で留学生と付き合う**個人チューター**候補者となるには、事前の研修を受ける必要があります。また、**シニアチューター**は、J-PAC生の個人チューター経験者に、初めてチューターをする学生等のアドバイザーになっていただくものです。個人チューターを兼ねることもできます。

* プログラムの概要、チューター制度については3ページ目以降に説明があります。

I. 個人チューター

1. 活動期間：2023年度後期(概ね2023年10月~2023年11月下旬)
※実質的には留学生の来日前の9月中旬から活動を始めていただきます。
2. 活動時間：25時間(予定)
3. 募集人数：110名(予定)
4. 個人チューターの仕事(活動内容):
 - 1) 留学生が、日本の生活、千葉大学での勉強に慣れることができるよう手助けをする。
 - 2) 留学生と同世代の友人となって相互理解を深めるとともに、日本語(または必要に応じて英語で)会話を楽しむ機会を作る。
5. 応募条件：以下の4つの条件を満たしていること。
 - 1) 2023年度T4の間に週3時間程度留学生と会い、話をしたり一緒に行動したりできること。
 - 2) 担当留学生の希望やニーズをくみ取り、積極的に行動できること。
 - 3) 留学生とよりよい関係が作れるよう、他のチューターとも協力できること。
 - 4) Moodle上での事前研修(オンデマンド方式)を7月14日(金)から8月30日(火)の間に受講し、9月7日(木)10時30分~12時に行うチューターガイダンス(オンライン、Google Meetで実施)に参加できること。事前研修の受講方法は以下のとおりです。課題を提出することでチューター候補者になれるので、早めに受講してください。
 - ・コース名：国際教養学部チューター事前研修
 - ・登録キーはチューターに応募するGoogle Formsのページに記載します。
- 5) チューターに求められる書類(指導実施計画書、月間報告書、学期末報告書)を作成し、期限を守って提出できること。

ただし、次の方は4)の事前研修の受講は不要です。

「留学生支援入門(1)または(2)」の単位を修得した人(またはT3に修得見込みの人)、J-PAC生のチューターになるために過去にMoodle上での事前研修(オンデマンド方式)を受けたことがある人

※チューター経験者の応募も歓迎します。アルバイト、インターンシップ、論文作成などで時間的な制約が大きい方はご遠慮ください。

6. 謝金:チューターとしての役割を果たした学生には大学規定の謝金(時給1100円)が支払われます。
7. 応募方法:8月25日(金)までに「**国際教養学部 2023年度後期チューター応募用フォーム**」(<https://forms.gle/kt1rKJw9x1HsTUAd9>)にURLまたは右の二次元コードからアクセスして申し込んでください。応募理由や抱負などを書いていただきます。応募用フォームには、千葉大学のGoogleアカウントでアクセスすることができます。
8. 選考方法: 応募用フォームへの記載内容、Moodle上での事前研修の受講状況、留学生とのマッチングを考慮して選考し、9月6日(水)までにメールで採否をお知らせします。



I. シニアチューター

1. 活動期間: 2023年度後期(概ね2023年9月下旬~2023年12月)
※実質的には留学生の来日前から活動を始めていただきます。
2. 活動時間: 15時間以内
3. 募集人数: 10名程度
4. シニアチューターの仕事(活動内容):
 - 1) 個人チューター8~10名ほどで組織するチューターグループのまとめ役をする。具体的には、LINEグループを作って、個人チューターに声を掛け、留学生との関係づくりや活動内容について情報交換やアドバイスをする。
 - 2) 担当グループのチューターがスムーズに活動できるよう、10月下旬にミーティングを開き、活動状況を把握して、国際教養学部国際交流委員の担当教員に報告する。
5. 応募条件: 以下の2つの条件を満たしていること。
 - 1) これまでにJ-PAC生のチューターを経験したことがあること(回数は問わない)。
 - 2) 2023年度T4の間に上記の活動をする時間的な余裕があること。活動は主にオンラインを予定している。
 - 3) **9月7日(木)10時~12時**に予定しているシニアチューター・個人チューター対象のガイダンス(オンライン)に参加できること。
シニアチューターと個人チューターの両方を務めることもできる。
6. 謝金: 実働時間に応じて謝金(時給1500円)を支払います。

7. 応募方法：8月25日（金）までに「**国際教養学部 2023年度後期チューター応募用フォーム**」（個人チューターと同一フォーム）で応募してください。
8. 選考方法：応募用フォームへの記載内容にもとづき、9月6日までにメールで採否をお知らせします。

問い合わせ

国際教養学部国際交流委員会 見城悌治 kenjo@faculty.chiba-u.jp

J-PAC コーディネーター（国際教養学部） 吉野文 ayoshino@faculty.chiba-u.jp

【チューターに応募する前に】

1. J-PAC とは (<https://cie.chiba-u.ac.jp/programs/index.html> 参照)

J-PAC (Japan Program at Chiba 千葉大学短期交換留学プログラム) は、「日本研究コース」と「国際教養コース」の2つのカテゴリーがあります。いずれも海外の大学で日本語を学習した経験があり、日本文化、日本語に興味を持っている学部生のためのプログラムです。ただし、学生の日本語能力は、ゼロに近い人から上級の人まで様々です。「日本研究コース」は、日本語、日本学を専門とする学生を、「国際教養コース」はそれ以外の専門の学生を受け入れています。

参加者のほとんどは、協定大学からの交換留学生です。西千葉キャンパスの各学部にも所属して、語学としての日本語科目、普遍教育科目、学部専門科目などを受講します。2023年10月は、中国、台湾、香港、韓国、タイ、インドネシア、ベトナム、オーストラリア、トルコ、ドイツ、ロシア、フィンランド、英国、スペイン、アメリカ、カナダ、ポーランド、ハンガリーの大学から学生を受入れることになっています。

2. チューター制度とは

チューター制度は、千葉大学が行っている留学生支援事業の一つで、留学生を生活、勉強の両面で支援するために、受入れ大学である千葉大学の学生の中から適当な学生をチューターとして留学生に紹介するものです。チューターの役割は、留学生の身分、留学の目的、日本語能力などによって異なりますが、J-PAC 生の場合、1 ページ目の「活動内容」に記したようなことが期待されます。

ほとんどの J-PAC 生にとって、チューターが1対1でつき合う最初の千葉大学生になるため、チューターに対する期待は大きいものがあります。チューターになった学生には、「何か質問されたら答える」といった受け身の態度ではなく、自ら状況を判断して積極的に行動することが望まれます。また、何よりも大切なのは、お互いに信頼し合える対等な友人関係を育てていくことです。チューターを務めることは、チューター自身にとっても、自分とは異なるものの見方を学んだり、日本について改めて考えたりするきっかけとなります。自分自身のコミュニケーション能力を向上させるよい機会でもあります。

国際教養学部では2022年度後期から、活動時間を25時間とし、J-PAC生が特にサポートが必要な入学前後から最初のタームを主な活動時期としています。J-PAC生は半年または1年単位で在籍するので、チューターとしての活動期間終了後は、一人の友人として、担当留学生とよい関係を築いていくことを期待しています。

3. チューターとしての義務

Moodleの「2023-J-PAC チューターガイダンス(後期)」に登録し、指導実施計画書、月間報告書、学期末報告書を提出したり、必要に応じて開催されるミーティングに参加したりしなければなりません。詳しいことは9月7日のガイダンスでお知らせします。

4. FAQ

Q：学部1年生、大学院生でも個人チューターに申し込めますか。

A：応募条件を満たしていれば申し込めます。

Q：個人チューターは具体的にどんなことをすればいいのですか。

A：まず、お互いの専門、趣味、日常生活の話などして、距離を縮めるようにしましょう。タームの開始時には、千葉大学の各種システムの使い方を教えたり、履修する科目について相談に乗ったりしてください。来日直後は、身の回りの品を揃えるのを手伝ったり、教室や教科書の買い方を教えたりする必要もあります。ほかにも、授業の予習・復習を手伝う、サークルへの参加をサポートするなど、いろいろ考えられます。また、チューターの役割は、「サポート」に限定されるものではありません。留学生と会話をする中で、相手をよく理解し、自分自身のこともよく理解してもらえようように心がけ、一緒にできる活動を考えてください。相手との関係や活動内容について戸惑うことがあれば、シニアチューターや他の個人チューターと相談するようにしてください。

Q：いつから活動を始めるのですか。

A：2023年度後期入学者は9月20日前後に来日する予定です。9月7日以降、来日するまでは、メール等で連絡を取り、オンラインで質問に答えたりアドバイスしたりしてください。来日後は、できるだけ早く直接会い、日本での日常生活、千葉大学の学習環境に慣れるように手伝ってください。

Q：個人チューターをする曜日・時間は決まっていますか。

A：決まっていません。留学生とよく話し合って調整してください。LINEなどでのやり取り以外に直接会う曜日・日時を決めておくことを強く勧めます。

Q：英語ができなくても個人チューターになれますか。

A：留学生はほぼ全員が日本語を学習しています。相手の日本語のレベルに合わせて日本語を使っ

てください。英語でのサポートが必要と思われる留学生には、相応の英語力がある方にチューターをお願いします。ただし、留学生は、チューターの英語の練習相手ではありません。また、英語以外の留学生の言語を学習している方には、積極的に応募していただきたいと考えています。

Q：担当留学生から、チューターでは対応できない質問を受けたようなときはどうすればいいですか。

A：個人チューターは、シニアチューターからアドバイスが受けられるよう LINE などを使ってグループを作りますので、まずシニアチューターに相談してみましょう。

J-PAC 生には、手続き上のことは留学生課の担当者に、科目の選択など授業に関することは J-PAC コーディネーターに尋ねるよう伝えています。また、来日後の留学生の生活面でのサポートは、留学生課内にある国際ナショナル・サポートデスクでも行っています。日本語に関する質問は、国際教育センター2階に「日本語支援室」(<https://cie.chiba-u.ac.jp/support.html>) に在室するチューターも答えることができるので、利用するよう勧めてください。